

# にのみや散策おすすめコース

にのみや guide map をお手元にご用意下さい。

## 里山散策コースA (歩行距離 ≒ 10 km 所要時間 ≒ 4.5 h)

コースのみどころ 吾妻山公園の花と眺望・万年堰跡・せせらぎ公園水辺の花・里山のみかんの花・炭焼き窯など



(注) ※ 神社より北側 大きなタブの木方向  
 ※ 炭焼き広場方向からは道なりに  
 (注) みかんの花は5月の中旬頃が見頃です。

吾妻山公園：菜の花 (12月下旬～3月上旬)・桜 (4月初旬頃)・つつじ (5月上旬頃)・紫陽花 (6月中旬頃)・コスモス (7月中旬～下旬頃)

せせらぎ公園：あやめ、菖蒲 (6月上旬頃) 紫陽花 (6月中旬頃)

万年堰跡：川を堰き止め水を引き込んで水車を回したり水田に水を引き込んだり今で言う多目的ダムです。この川沿にも多くの堰が造られました。新編相模風土記稿によれば「万年堰 中里村より宇田川を堰入れ、同村及び二宮村の用水となす。慶長中、縣令 万年七郎右衛門高頼、掘割の功を發せしかば名となす。」とあります。この水によって勝負前 (二宮町庁舎の下側) に広い水田が開かれました。この堰の特徴は水田と堰の高低差が少なく通水の距離が長い事です。

## 里山散策コースB (歩行距離 ≒ 7 km 所要時間 ≒ 3.0 h)

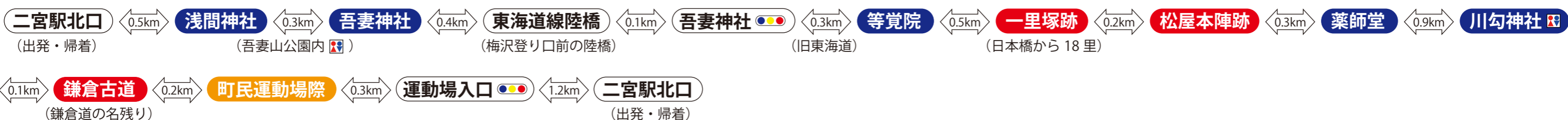
コースのみどころ 吾妻山公園の花と眺望・万年堰跡・せせらぎ公園水辺の花・炭焼き窯など



(注) ※ 神社よりガードレール登り坂方向  
 ※ 炭焼き広場方向からは道なりに

## 歴史散策コース (歩行距離 ≒ 5 km 所要時間 ≒ 2.0 h)

コースのみどころ 等覚院の藤の古木・薬師堂の薬師座像・川勾神社隋神門と左右の木像など



浅間神社：本社は富士宮市の富士山本宮浅間大社です。一説によれば曾我兄弟が父の仇 河津佑泰を討つにあたり姉の花月尼はその本懐が成就されん事を願い、住居である知足寺の西南にある吾妻山へ毎朝登って富士山の方角へ向かい祈ったと言います。兄弟がその本懐を遂げた後、この地に神社を建てたと言います。

等覚院：1575年(天正3年)号が等覚坊名を実雄という僧が兵火に焼かれた東光寺と神願寺を合わせ再興したので等覚院としたものです。境内の藤の木は寛文の頃(1661～1673年)仁和寺の宮がこの藤の花を見て藤巻寺と別号を付けたと言われます。また1623年(元和9年)将軍家光が上洛のおり立ち寄り、この藤を見た時に葵の紋が入った茶碗を賜ったと言われます。

一里塚跡：江戸幕府は1601年伝馬制度を定め、東海道へは53宿を置きました。江戸日本橋を起点に一里ごとに道の両側へ塚を設け、その上部へ主として榎などの樹木を植えました。

松屋本陣跡：ここ二宮は大磯と小田原宿の間にあり「間の宿」と呼ばれ、旅人が休憩のために利用する茶屋や商家などで賑わっていました。茶屋本陣と呼ばれた松屋は大名や公家、門跡などの休憩場所で宿泊は出来ない事になっていましたが時代が下り、街道の往来が頻繁になると次第に宿泊を提供する場所へと変化していき、隣接の宿場町との争いが増えて来たと言います。

## 古社と古刹めぐりコース (歩行距離 ≒ 7 km 所要時間 ≒ 3.0 h)

コースのみどころ 等覚院の藤の古木・西光寺のカヤの木・川勾神社隋神門・曾我兄弟の墓(自然石)など



(注) ※ 知足寺への近道は「吾妻山公園案内図」を参照して下さい。

**伊達 時**：医師であり教育者であった「時」は嘉永2年二宮村塩海に生まれました。小田原藩士の娘であった母の家庭教育や父の医術を通しての学問のもと厳格に育てられたと言います。明治20年、東海道本線の東京～国府津間が開通した時、二宮には駅が設けられず東海道の間の宿として繁栄してきた山西村・二宮村にとっては大打撃でした。そこで「時」や有志一同が嘆願を繰り返し、明治35年4月開業となりました。また、二宮～秦野往還道の整備にも尽力し、明治37年秦野盆地の物資を二宮駅へ搬送する湘南軽便鉄道の礎となる湘南馬車鉄道を設立して初代社長に就任しました。

**薬師堂**：新編相模風土記稿に「二宮明神の本地堂」と記されており、薬師は川勾神社の本地仏でしたが神仏分離令により川勾神社から別れ、茶屋地区の所有となりました。寄木造り、彫眼漆箔の坐像で江戸時代の作と推定され、高さは261.5cm、面長48.5cmです。

**西光寺**：無量山両宝院と言い、鎌倉時代の開山で本堂は安永2年(1773年)復興した年に建てられたものです。山門手前左側の「身代子育地藏」は、寛政年間の大津波または疫病により大勢の子供が亡くなったのを悼んで押切村の人達が建てたと言われます。境内には推定樹齢500年と言われる樹高20m弱のカヤの木があります。

## 記念館めぐりコース (歩行距離 ≒ 6 km 所要時間 ≒ 2.5 h)



**ふたみ記念館**：二宮町の出身で異才の洋画家二見利節の作品を収蔵した記念館です。明治44年10月旧吾妻村(現山西)に7人兄弟の次男として生まれ、昭和6年小田原在住の画家井上三綱に油絵の指導を仰ぎ、昭和8年春陽会展に初入選した「温かい部屋」が画家二見利節の出発点と言えます。昭和14年代表作の「三人の女」を完成させ「T子」「横たわる女」が文展で連続特選となりました。昭和40年代に入り日動画廊の援助を受け、昭和47年に同画廊で個展を開催しましたが昭和51年乳癌で生涯を閉じました。

(注) 10～16時(入場は15時30分迄)・月曜日、祝祭日の翌日は休館(月曜日が祝日の場合は開館し翌日休館)

**徳富蘇峰記念館**：明治・大正・昭和と三代にわたり活躍した言論人であり歴史家であった徳富蘇峰は、文久3年(1863年)現熊本県に庄屋兼代官の家に生まれ、弟に徳富蘆花がいます。この記念館は蘇峰に長らく秘書として仕えた塩崎彦市氏(号 静峰)によってその邸内へ建設されたものです。館内には、蘇峰の書簡・蔵書・揮毫・原稿・その他遺品と塩崎氏が蒐集していた資料を合わせて保存し、公開した記念館です。邸内には梅の古木が多く花が咲く頃の臥龍梅は見ごたえがあります。

(注) 開館日：月・水・金曜日 10～16時(梅の時期は、土曜日・日曜日も開館)・梅園：梅の開花時期は常時開園

## 二宮町観光協会がウォーカーにお薦めするウォーキングマップのご案内

### 吾妻山公園の菜の花～曾我の梅林 コース (歩行距離 ≒ 9 km 所要時間 ≒ 4.0 h) 二宮町～小田原市下曾我

菜の花と梅花を同時に楽しめるウォーキングルートですが新緑の季節には萌黄色の里山がお楽しみ頂けるコースで健脚の方にお勧め出来るコースです。お帰りはJRかバスをお選び下さい。

### 吾妻山公園～せせらぎ公園～巖島湿生公園 コース (歩行距離 ≒ 6 km 所要時間 ≒ 2.5 h) 二宮町～中井町

アヤメや菖蒲の咲く6月上旬は特にお薦め出来るコースです。この季節には一面真っ青な田圃が目を楽しませてくれるでしょう。また、葛川の水辺や巖島湿生公園にはカワセミなどの鳥たちが見られます。お帰りはバスどうぞ。

### 吾妻山公園～鷹取山～城山公園 コース (歩行距離 ≒ 10 km 所要時間 ≒ 4.5 h) 二宮町～大磯町

ウォーキングをお楽しみ頂きたい健脚の方には一番のお薦めコースです。コース中盤はアップダウンの変化に富んだコースで、特に5月の初旬から中旬の季節にはみかんの花が香ります。お帰りは、JRかバスをお選び下さい。

※このマップは二宮町観光協会にご用意しています。

お問い合わせ

二宮町観光協会

〒259-0123 神奈川県中郡二宮町二宮 961 町民センター  
TEL/FAX: 0463-73-1208 ホムページ: <http://shonan-ninomiya-kankou.com>

編集・発行 二宮町観光協会 この印刷物の全部または一部を無断で複製使用する事を禁じます。